

行方地域の農業を支える担い手の確保・育成

鹿行農林事務所行方地域農業改良普及センター

行方普及センターでは行方地域就農支援協議会と連携して、農業の担い手を産地で確保・育成する取組を支援しています。農業改革フォーラムを開催し、産地一体となった担い手の確保・育成の取組の重要性を再確認するとともに、関係機関と連携して農業次世代人材投資事業の事業効果を高めるとともに、産地担い手確保育成応援事業を活用した産地受入型就農体制の整備や空きハウスの有効活用に取り組んでいます。

新規就農者の体験談を広聴

平成 28 年に地域農業の担い手確保・育成をテーマに農業改革フォーラムを開催しました。フォーラムでは、やさと菜苑株式会社から地域における担い手確保・育成にかかわる講話、潮来市と行方市に新規就農した体験談を報告しました。当日は、管内生産者や関係機関約 180 名が参加し、地域として担い手を確保・育成する支援体制の重要性を再確認しました。



新規就農者の体験談報告（K氏、I氏）



市と連携をした個別巡回支援

市と連携したサポート体制

新規就農希望者に対して関係機関と連携し、就農計画の作成支援を行っています。また、個別巡回による就農状況確認と営農改善提案等により農業次世代人材投資事業の事業効果を高める支援を行っています。平成 29 年における人材投資資金受給者は準備型 4 名、開始型 14 名です。

空きハウスの相談窓口開設

行方地域就農支援協議会では、産地受入型の就農支援体制構築を目指し、先進地視察研修会を行い、農家体験研修事業や空きハウスの有効活用対策の取組を開始しました。空きハウスの有効活用では、空きハウスを貸したい農業者と借りたい農業者を対象とした相談窓口を開設し、情報提供を開始しました。



先進地視察研修会（宇都宮市農業公社の新規就農者）